

-地方独立行政法人青森県産業技術センター(H23.7.12 締結)

-独立行政法人宇宙航空研究開発機構(H24.2.6 締結)

④ 外部資金による研究の推進

- ・ 科研費をはじめとする競争的資金や各種公募型研究に積極的に応募した結果、外部資金課題数は前年度比 111%と大幅に増加した。一方、獲得額は同 85%であったが、大型補助事業の予算が年次計画より対前年度大幅減となったことが要因であり、これを除くとむしろ大幅に増加している。
- ・ 研究開発、産業連携等幅広い分野において、政府、民間企業等から、ODA を含む競争的研究資金、委託費、補助金、その他民間助成金等の多様な資金を獲得している。
- ・ 外部資金の不正使用を防ぐ取り組みとして、文部科学省制定ガイドラインに対応した機構内の体制、規程類、不正防止計画に基づき、各種外部資金制度の理解浸透のための所内説明会等を実施している。

⑤ 国際的なプロジェクト等への対応

- ・ 国際関係業務を円滑かつ戦略的に推進するため、国際関係業務連絡委員会を開催した。平成 23 年度は同委員会を 6 回開催し、関連国際動向の情報共有を行い、国際関係業務に係る連絡調整及び今後の国際展開の仕方について検討を行った。
- ・ アラスカ大学国際北極圏研究センター(IARC)との研究協力に関する共同研究協定に基づき、実施取り決めの年度更新を行い、共同研究テーマを推進した。また、同協定に基づく定期協議を 1 回開催し、同協定下の研究活動の進捗等を確認した。
- ・ ハワイ大学国際太平洋研究センター(IPRC)との研究協力に関する共同研究協定に基づき、実施取り決めの年度更新を行い、JAMSTEC-IPRC Initiative(JII)の 7 つの研究テーマにおいて共同研究を実施した。また、同協定に基づく運営委員会を 1 回開催し、研究協力活動全般の運営・進捗等を確認した。

2. 研究開発成果の普及及び成果活用の促進

(1) 研究開発成果の情報発信

- ・ 研究開発の成果として、以下の発表を行った(各研究領域・センター合計数。論文、誌上発表は投稿中を含む。)

査読付論文	英文:910、和文:78 (平成22年度 英文:878、和文:85)
その他誌上発表	英文:101、和文:183 (平成 22 年度 英文:72、和文:202)
学会発表	国際:1,256、国内:1,225 (平成 22 年度 国際:911、国内:861)

(論文査読付割合:約 78%)

- ・ 機構独自の査読付き論文誌「JAMSTEC-R」については、第 13 巻及び第 14 巻を発行し、査読付き論文誌に刷新した第 8 巻以降については、従来のインターネット公開に加え、平成 23 年度より JST 提供のシステム J-STAGE にて電子ジャーナルの公開を開始した。
- ・ 機構内外に向けたシンポジウム、研究成果発表会等を計 234 件開催した。
- ・ 平成 23 年度研究報告会「JAMSTEC2012」を開催し、444 名の来場があった。
- ・ 東日本大震災に関連した緊急調査報告会を、秋葉原および仙台(東北大学と共催)で 2 度開催し、機構の地震後の取り組みや今後の対策等について、広く発信した。